

議 事 日 程 (第6号)

平成29年3月23日(木) 午前10時開議

- 日程第1 議案第24号 平成28年度湖西市病院事業会計補正予算(第2号)  
福祉教育委員長報告
- 日程第2 議案第25号 平成29年度湖西市一般会計予算  
予算特別委員長報告
- 日程第3 議案第26号 平成29年度湖西市国民健康保険事業特別会計予算  
総務経済委員長報告
- 日程第4 議案第27号 平成29年度湖西市介護保険事業特別会計予算  
福祉教育委員長報告
- 日程第5 議案第28号 平成29年度湖西市後期高齢者医療事業特別会計予算  
総務経済委員長報告
- 日程第6 議案第29号 平成29年度湖西市公共下水道事業特別会計予算  
建設環境委員長報告
- 日程第7 議案第30号 平成29年度湖西市水道事業会計予算  
建設環境委員長報告
- 日程第8 議案第31号 平成29年度湖西市病院事業会計予算  
福祉教育委員長報告
- 日程第9 議案第32号 湖西市副市長の選任につき同意を求めることについて
- 日程第10 議案第33号 湖西市固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて
- 日程第11 議案第34号 湖西市教育長の任命につき同意を求めることについて
- 日程第12 議案第35号 平成28年度湖西市民会館解体工事の契約締結について

○本日の会議に付した事件……………次に掲げるとおり

議事日程に掲げた日程第1から日程第8

議案第31号に対する附帯決議案

議事日程に掲げた日程第9から日程第12

○出席及び欠席議員……………出席表のとおり

○説明のため出席した者……………出席表のとおり

○職務のため議場に出席した事務局職員……………出席表のとおり

午前10時00分 開議

○議長（二橋益良） ただいまの出席議員は18名であります。定足数に達しておりますので、本日の会議を開きます。

本日、撮影を許可した者には許可証を交付しておりますので、御報告いたします。

---

○議長（二橋益良） 続いて、事務局長から報告事項を申し上げます。

〔議会事務局長 山本一敏登壇〕

○議会事務局長（山本一敏） 議案書の受理について申し上げます。本日、市長より人事案件3件、その他1件の追加議案が提出されました。以上で報告を終わります。

○議長（二橋益良） 報告事項は終わりました。

これより本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりでございます。

---

○議長（二橋益良） 日程第1 議案第24号 平成28年度湖西市病院事業会計補正予算（第2号）を議題といたします。

本案は、3月3日の本会議で福祉教育委員会に付託をいたしました。お手元に配付のとおりでございます。福祉教育委員会審査報告書のとおり報告されております。

ここで、福祉教育委員長の報告を求めます。福祉教育委員長 竹内祐子さん。

〔福祉教育委員長 竹内祐子登壇〕

○福祉教育委員長（竹内祐子） 10番 福祉教育委員長の竹内祐子です。

議案第24号 平成28年度湖西市病院事業会計補正予算（第2号）について報告をいたします。

本3月定例会において当福祉教育委員会に付託となりました議案第24号 平成28年度湖西市病院事業会計補正予算（第2号）について、3月15日午前10時より委員会を招集し、委員全員と関係職員の出席を求め慎重に審査いたしましたので、その経過の概要と結果を報告いたします。

質問 平成28年度当初予算については、「設置者、

管理者初め病院職員一丸となって改革プランの推進に向け、責任と覚悟をもって病院経営に当たることを強く要望する」内容の附帯決議がついたが、病院事業管理者や設置者から経営改善の指示等はあったか。

答弁 附帯決議については、職員一同重く受けとめている。病院事業管理者から院内の管理会議・経営会議などで経営改善に資する取り組みを行うよう職員へ指示し、平成28年度からバランススコアカードの項目をふやし、取り組みを強化している。また、設置者には経営改善等の取り組みについての報告をしている。

質問 医療機器の購入内容と年度末に購入する理由は。

答弁 主に購入する機器は、上部消化管ビデオスコープ、内視鏡システム、移動式LED無影灯などである。年度末で交換部品の製造が終了する機器があるため、これらを中心に購入するものである。限られた予算の中で診療に支障を来さないよう、機器などについては計画的に購入しているが、突発的な故障等にも対応するため、柔軟に予算執行したいと考えている。

そのほかにも質問、答弁がございましたが、賛成討論、採決の結果、当福祉教育委員会は全員賛成にて原案のとおり認定すべきものと決しました。

○議長（二橋益良） 休憩をとります。

午前10時02分 休憩

---

午前10時02分 再開

○議長（二橋益良） それでは休憩を解いて会議を再開いたします。

福祉教育委員長のほうから訂正の要請がありましたので、許可いたします。

〔福祉教育委員長 竹内祐子登壇〕

○福祉教育委員長（竹内祐子） 訂正をお願いいたします。最後のところですが、全員賛成にて原案のとおり認定すべきものと決しましたと言いましたが、そのところを可決しましたと訂正をお願いいたします。

○議長（二橋益良） 再度訂正をお願いします。

〔福祉教育委員長 竹内祐子登壇〕

○福祉教育委員長（竹内祐子） 済みません。申しわけありません。

もう一回訂正をお願いいたします。最後の2行ですけれども、そのほかにも質問、答弁がございましたが、賛成討論、採決の結果、当福祉教育委員会は全員賛成にて原案のとおり可決すべきものと決しました。と訂正をよろしくをお願いいたします。

○議長（二橋益良） 福祉教育委員長の報告は終わりました。

質疑を行います。ただいまの福祉教育委員長報告に対する質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（二橋益良） 以上で質疑を終わります。

討論を行います。討論のある方はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（二橋益良） 以上で討論を終わります。

それでは議案第24号について採決いたします。本案は福祉教育委員長の報告のとおり原案を可決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○議長（二橋益良） 挙手全員であります。したがって議案第24号は原案のとおり可決されました。

○議長（二橋益良） 日程第2 議案第25号 平成29年度湖西市一般会計予算を議題といたします。

本案は、2月23日の本会議で予算特別委員会に付託いたしましたがお手元に配付してあります予算特別委員会審査報告書のとおり報告されております。

ここで、予算特別委員長の報告を求めます。予算特別委員長 島田正次君。

〔予算特別委員長 島田正次登壇〕

○予算特別委員長（島田正次） 13番 島田正次です。

本3月定例会において当予算特別委員会に付託されました議案第25号 平成29年度湖西市一般会計予算について、3月9日午前9時30分から委員会を招集し、委員全員と関係職員の出席を求め、3月9日、10日の両日において慎重に審査をいたしましたので、その経過の概要と結果について御報告申し上げます。

委員会の審査の過程においては、細部にわたり多くの質疑、答弁が行われました。その後討論もなく採決を行った結果、当予算特別委員会は賛成多数にて原案のとおり可決すべきものと決しました。以上、委員長報告とさせていただきます。

○議長（二橋益良） 予算特別委員長の報告は終わりました。

本件は、委員長報告に対する質疑は省略いたします。

討論を行います。討論発言通告書が提出されておりますので、11番 荻野利明君の発言を許します。11番 荻野利明君。

〔11番 荻野利明登壇〕

○11番（荻野利明） 11番 荻野利明。議案第25号 平成29年度湖西市一般会計予算について、反対討論を行います。

今、地方は、住民の暮らしの困難、福祉・医療の危機、地域経済の衰退など深刻な問題に直面しています。こうした市民の暮らしや営業に本予算がどう対応しているのか。市民の立場に立った、市民に寄り添った予算になっているのかが問われています。

私は本予算が市民に寄り添うどころか、企業を優先し、市民を置き去りにした予算と言わざるを得ません。以下、問題点を指摘したいと思います。

第1に、自治体が国の悪政を住民の暮らしにそのまま持ち込むのか、暮らし・福祉・子育てを守る防波堤の役割を果たすのかが問われています。消費税増税と円安誘導による物価高が、暮らしと地域経済を直撃しています。福祉、介護、医療への国庫負担の削減は、人手不足や介護難民、医療崩壊を深刻化させ、保険料などの重い負担を強いています。輸入自由化政策が地方の主要産業である農林水産業や地場産業に打撃を与えています。大規模小売店舗法廃止が身近な商店街を潰すなど、大企業優先の政治が地域経済を破壊してきました。暮らしが大変になっているときだからこそ、自治体が社会保障削減、暮らし圧迫の悪政をそのまま持ち込み、住民に負担を強いるのか、それとも住民を守る防波堤としての本来の役割を果たすのかが鋭く問われています。

介護報酬を過去最大規模で削減しました。介護現

場の低賃金と慢性的な人手不足を加速させ、介護難民を激増させています。要支援1、2の介護給付の打ち切り、特養ホーム入所の要介護3以上への限定などの改悪も次々と強行されています。生活保護の生活扶助、住宅扶助、冬季加算の削減など、福祉の切り捨ても強行されています。国、自治体の公的責任を後退させる子ども・子育て支援制度の実施を強行しました。公的保育制度を壊し、基準がさまざまな保育サービスの導入、営利企業参入の拡大、公立保育所の廃止や強引な幼稚園との統合など、保護者の願いに逆行する保育制度の改悪です。

さらに、保育士の給料が小学校の先生の6割にとどまっていることです。国家資格が必要な専門職、命を預かる責任の重さにふさわしい水準ではありません。潜在的な保育士はたくさんいます。職につくためには待遇の抜本的な改善が必要なことは明らかです。今、女性の活躍が叫ばれていますが、女性の活躍を期待するなら、女性への格差と差別をなくすことです。賃金一つとっても、日本の場合、男性の半分程度と言われています。最低賃金の大幅な引き上げや同一労働、同一賃金など、法律をつくることで今すぐできることです。安倍政権の女性の活躍は低賃金の女性を都合よく利用するだけとしか見えません。

第2に、大企業を呼び込み大型開発依存の破綻した経済政策か、地域の力を生かす産業振興が問われています。企業を呼び込めば、そのおこぼれで地域が栄えるという政策の破綻は明らかです。最大の問題は、呼び込みのための大型開発、産業基盤、インフラ整備や補助金の大量投入が地方財政を圧迫し、暮らしや福祉、地域にある中小企業や産業のための施策が犠牲にされ、それが地域経済の疲弊に拍車をかけていることです。地域経済を支える住民の消費、地域の産業、企業の活動が呼び込みのために犠牲にされるという本末転倒の事態です。

地域に根を張って頑張っている中小企業、産業を応援し、地元の資源を生かした魅力ある事業開発を支援してこそ、本当の地域再生を図ることができます。地域にある力を元気にする振興策を進めてこそ、若者を初めとした定住の拡大、人口減対策にもつな

がり、地方経済と地域社会の持続可能な成長に道を開くことができます。

第3に、災害から住民の命と財産を守る防災・減災対策を最優先に取り組むことです。東日本大震災から6年、阪神淡路大震災から22年がたちました。今、全国で大地震や津波、噴火、異常気象に備える防災・減災対策を促進し、災害に強いまちづくりが進められています。避難計画には高齢者や障害者、住民の安全な避難など、地域の防災対策を強化する取り組みが行われています。同時に、災害に住民の命を守る地域の医療、福祉のネットワークを強化し、消防自治体の人員確保を含め、体制強化を図ることが急務です。

また、災害の危険を無視した開発行為の規制など、経済効率最優先でなく、防災を重視したまちづくりを進め、学校や病院、社会福祉施設、大規模集客施設などだけでなく、全ての住宅の耐震診断、耐震補強を促進する必要があります。湖西市には地震、津波、豪雨や暴風、土砂災害などといった自然災害が予想されます。もちろん、想定外も含めた対策が必要です。市民の生命を最優先にした防災対策をお願いをするものです。

第4に、貧困化の問題についてです。今、国民の間では貧困による格差の拡大が大きな問題になっています。国民に増税など負担増と社会保障の改悪、労働法制の改悪などを次々押しつけてきた結果です。さらに消費税の増税、年金の引き下げや生活保護基準の引き下げ、後期高齢者医療の保険料の引き上げ、生活実態からかけ離れた高い国保料など、貧困による格差を一層拡大しています。暮らしが大変になっているときだからこそ、住民を守る防波堤としての本来の役割を果たすよう求めるものです。

今回、子ども医療費の中学生まで完全無料化を実現したことは高く評価するものです。影山市長が公約している高校生への医療費の助成、給食費への助成など、子供の貧困対策として早く実現していただきたいと思います。

第5に、非正規職員の問題についてです。現在、湖西市には非正規・臨時の職員が多く働いています。年間200万円前後の官製ワーキングプアの状態をな

くすことは急務と考えます。今、政府でさえ賃上げで経済の好循環をつくる、こう言っています。非正規職員の時給を引き上げることは、政府の政策にも沿うものであり、地域経済にも貢献することになります。さらには若者の定住など、人口減対策にもなります。時給を引き上げ、市民のために一層働いてもらうことが、市民サービスをさらに向上させることができます。

主な点について指摘をしましたが、私は長引く不況と財政難のときこそ、市民の暮らしや営業、福祉を守ることが優先されなければならないと考えます。市民の暮らしを守る防波堤としての行政の役割は、ますます重要になっています。この役割を強く求めて、反対討論といたします。

○議長（二橋益良） ただいまの討論は、反対討論でした。

賛成討論のある方はございませんか。14番 馬場衛君。

〔14番 馬場 衛登壇〕

○14番（馬場 衛） 14番 馬場 衛です。議案第25号 平成29年度湖西市一般会計予算について、賛成の討論をさせていただきます。

国における平成29年度の経済見通しは、経済対策などの政策の推進等により、雇用、所得環境が引き続き改善し、経済の好循環が進展する中、民事を中心とした景気回復が見込まれております。しかしながら、先行きのリスクとしては海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響等に留意する必要がありますとされています。

このように景気回復が見込まれるとする一方、海外経済の不確実性などがある中で、本市の予算編成が行われております。

歳入は根幹をなす市税において、当市は企業の雇用状況、業況見込みを減少傾向に捉え、市民税が対前年度比6.6%の減となっていますが、償却資産の伸びもあり、全体ではほぼ横ばいであります。また、合併算定がえの激変緩和期間が3年目となり、普通交付税や臨時財政対策債が半減となるなど、財源確保が大変厳しいものとなっております。

そうした中で、財政調整基金、公共施設整備基金、

ふるさと応援基金などから計画的な取り崩しにより、財源を確保し、歳入に見合った歳出構造と選択と集中の考えのもと、地方創生施策の戦略的な展開を図るための予算編成としていることがうかがえます。

具体的な事業といたしましては、市民が安全で安心して暮らせるまちづくりをするために、津波・地震対策などの防災・減災対策として、避難施設空白地域に命山や避難タワーを整備するとともに、同報無線のデジタル化の推進にも引き続き取り組んでおります。そして、高規格救急自動車や消防団のポンプ車の更新につきましても予算への盛り込みがされております。

また、まちづくりに向けた整備としましては、新所原駅北口広場の整備や（仮称）浜名湖西岸土地区画整理事業、鷺津駅谷上線整備への予算計上もされております。少子化対策、子育てに着目した事業としましては、中学生までのこども医療費無料化、幼稚園一時預かり事業の拡充、放課後児童クラブの施設整備なども予算に盛り込まれております。

このような中で、財源につきましても、ふるさと納税制度を推進するため、地場産品を用いたお礼の品数の増加と、湖西市の情報発信を兼ねたPRを行うなど、自主財源の確保にも力を入れております。

予算内容につきましては、当局からの説明や2日間にわたる予算特別委員会において、各担当者から詳細な説明を聞き、慎重な審議をまいりました。その内容については適切であり、限られた財源の中で苦慮しながら、5年先、10年先の将来をしっかりと見据えた、市民の皆さんと新たなまちづくりにチャレンジする新市長のスタートの年と位置づけた予算であると評価するものであります。

今後は、総合計画に予定されている事業及び老朽化した公共施設の再配置計画など、数多くの早急に改修が必要となる施設整備が控えていることから、さらなる経費削減の努力と集中と選択による効率的で安定した市政経営をしていただくことを期待いたしまして、私は平成29年度湖西市一般会計歳入歳出予算認定に対し、原案のとおり賛成するものであります。以上です。

○議長（二橋益良） ただいまは賛成討論でありま

す。

ほかに討論のある方はございませんか。17番 神谷里枝さん。

〔17番 神谷里枝登壇〕

○17番（神谷里枝） 17番 神谷里枝。議案第25号平成29年度湖西市一般会計予算に対しまして、賛成の討論を行います。

平成29年度予算審議過程において、地方交付税や国庫支出金の減少など、大変厳しい状況であることと、影山市長が就任した時点ではほぼ予算編成が固まっていたことを踏まえ、スクラップ・アンド・ビルドに取り組み、最小限の支出で最大の効果を上げ、未来に続くまちづくり推進のために、以下の3点について、予算執行に当たり、より慎重に検討していただくことを期待し、賛成討論をさせていただきます。

1点目、繰出金について。特別会計への基準外繰出金については、繰り出すことが常習的になっていないか、事業経営を再検討し、特に病院事業会計への基準外繰出金の扱いは、市民の健康と命を守る住民サービスを提供していることも鑑み、基準外繰出金の抑制に努めること。また、繰出金の所管は健康増進課に戻すこと。

2点目、子育て支援手当について。子育て支援手当は国の児童手当支給基準ののっとり、市独自の制度として児童手当に上乘せして支給しています。国においては子ども・子育て支援新制度による制度改正や幼児教育無償化に向け、段階的に負担軽減措置に取り組んでおり、また湖西市においても、来年度より新たに中学生までの医療費の無料化も予算化されております。より多くの保護者の経済的負担軽減のためにも、まずは小学校の給食費助成などへの組みかえを検討し、さらなる子育て支援策の充実を図ること。

3点目、木曽町児童交流事業について。木曽町児童交流事業は、新居町時代から新居小学校の5年生を対象に木曽町との交流が行われております。湖西市では市内の小・中学校を対象に、特色ある学校づくり推進事業にも取り組んでいることや、合併して8年目に突入することを踏まえ、対象児童の見直し

や事業内容の再検討を行い、湖西市の子供たちに同様に生活体験の場を与えること。

以上のことに心を置いていただいて、予算執行に当たっていただきたいと思い、以上をもって賛成討論といたします。

○議長（二橋益良） ただいまは賛成討論でありました。

ほかに討論のある方はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（二橋益良） 以上で討論を終わります。

それでは議案第25号について採決いたします。本案は予算特別委員長の報告のとおり原案を可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（二橋益良） 起立多数であります。したがって議案第25号は原案のとおり可決されました。

---

○議長（二橋益良） 日程第3 議案第26号 平成29年度湖西市国民健康保険事業特別会計予算を議題といたします。

本案は、3月3日の本会議で総務経済委員会に付託いたしましたがお手元に配付してあります総務経済委員会審査報告書のとおり報告されております。

ここで、総務経済委員長の報告を求めます。総務経済委員長 加藤弘己君。

〔総務経済委員長 加藤弘己登壇〕

○総務経済委員長（加藤弘己） 9番 総務経済委員長の加藤弘己です。

本3月定例会において当総務経済委員会に付託されました議案第26号 平成29年度湖西市国民健康保険事業特別会計予算について、3月14日午前10時より委員会を招集し、委員全員と関係職員の出席を求め慎重に審査をいたしましたので、その経過の概要と結果を報告いたします。

質問 歳入、保険税の課税限度額引き上げによる影響額は。

答弁 保険税のうち、医療費と後期高齢者支援にかかわるものの課税限度額が引き上げとなった。平成29年1月末現在の加入者及び所得状況による試算では、医療費分で約165世帯、約320万円の増額とな

り、後期高齢者支援金分では約177世帯、約320万円の増額となる。

質問 歳出、国保広域化に伴う電算システム改修の財源は。

答弁 一般会計からの事務費繰入金で全額賄われる。システム改修費は国庫補助の対象となるため、一般会計の歳入で予定される経費の全額を国庫補助金として予算計上している。

その他にも質問、答弁がございましたが、討論なく採決の結果、当総務経済委員会は全員賛成にて原案のとおり可決すべきものと決しました。以上、報告を終わります。

○議長（二橋益良） 総務経済委員長の報告は終わりました。

質疑を行います。ただいまの総務経済委員長報告に対する質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（二橋益良） 以上で質疑を終わります。

討論を行います。討論発言通告書が提出されておりますので、11番 荻野利明君の発言を許します。11番 荻野利明君。

〔11番 荻野利明登壇〕

○11番（荻野利明） 11番 荻野利明。議案第26号平成29年度湖西市国民健康保険事業特別会計予算について、反対討論を行います。

今、国民健康保険は土台を掘り崩すような危機に陥っています。多くの自治体の国保税は、既に住民の負担能力をはるかに超える額となっています。高い国保税を値下げしてほしいというのが、多くの加入者の願いです。高過ぎる国保税、非情な滞納制裁、ふえ続ける無保険者、貧困と格差が広がる中、市町村国保の危機的状況がますます深刻化しています。

国民健康保険法第1条では、この法律は国民健康保険事業の健全な運営を確保し、もって社会保障及び国民健康保険の向上に寄与することを目的とすると明記されており、明らかに社会保障制度であります。この社会保障制度が高い保険税を押しつけることによって、新たな貧困を招く原因になっています。

国保は医療のセーフティネット、最後のとりでです。そのため、高齢者、無職者、病人、ワーキング

プア、つまり医療が必要で低所得の人たちがたくさん加入している医療保険です。こうした加入者にとって一番の問題は、国保税の異常な高騰です。高い、支払い能力をはるかに超える国保税に、住民が悲鳴を上げています。保険税の高騰、滞納者の増、財政悪化、保険税の高騰という悪循環から抜け出せなくなっています。

第2の問題は、滞納世帯の増大に呼応して保険証の取り上げの制裁措置が行われていることです。保険税滞納世帯には短期保険証や資格証明書が交付されています。保険証がないため、重症でも医者にかかれぬ、手おくれで命を落とすといった悲惨な事件は後を断ちません。社会保障制度としての国民健康保険である以上、保険税の滞納があるかないかで判断するのではなく、命にかかわる問題として保険証は加入者全てに交付をすべきです。

最後に、一般会計からの法定外繰り入れについてです。生活実態からかけ離れた高い国保税、貧困にさらに拍車をかけている高い国保税を引き下げるために、行政の果たす役割は重要です。一般会計から思い切った繰り入れを行い、高い保険税を引き下げるべきです。国民健康保険はできたときから国の支援なしに運営できないことはわかっていたことです。その国が責任を果たさなければ、市が肩がわりするしかありません。また、国保は特別会計だといっても、市全体の保健検診事業や福祉施策と大きくかかわっていますから、一般会計とリンクさせるのは当然のことです。思い切った繰り入れを行い、加入者の願いである高い国保税を引き下げてほしいという願いに応えるよう、強く求めるものです。

以上のことを述べて、反対討論といたします。

○議長（二橋益良） ただいまの討論は、反対討論でした。

賛成討論のある方、ございませんか。14番 馬場衛君。

〔14番 馬場 衛登壇〕

○14番（馬場 衛） 14番 馬場 衛です。議案第26号平成29年度湖西市国民健康保険事業特別会計予算の賛成討論をいたします。

国民健康保険は、国民皆保険制度を支える基盤と

して重要な役割を果たしており、地域における医療の確保と健康増進に大きく寄与しております。

しかしながら、高齢者や低所得者の加入率が高いなど、制度の抱える構造的な問題により、国保の財政運営は非常に厳しいものとなっております。

これらの問題を解決するため、平成30年度から国民健康保険の広域化が始まり、平成29年度は標準税率の決定など、施行に向けた最終的な準備が行われる重要な年度となります。

本予算案は、高齢化や医療の高度化に伴い、全国的に医療費が増加する中、医療費の適正化や生活習慣病予防等、保健事業の強化などにより、一人当たりの医療費の伸びを最小限に抑制するとされております。また、実績を十分精査することで、歳入及び歳出を適正に見込むとともに、支払準備基金の活用により、平成24年度から保険税率を据え置くなど、国保加入者の負担についても最大限配慮されたものとなっております。さらに特定健診、特定保健指導においては、県下でも上位の受診率を誇っており、限られた予算の中で多くの対象者の受診を促すための対策が講じられております。

以上のことから、本予算は適正であると評価し、本案に賛成するものであります。

○議長（二橋益良） ただいまの討論は、賛成討論でした。

ほかに討論のある方はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（二橋益良） 以上で討論を終わります。

それでは議案第26号について採決いたします。本案は総務経済委員長の報告のとおり原案を可決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○議長（二橋益良） 挙手多数であります。したがって議案第26号は原案のとおり可決されました。

○議長（二橋益良） 日程第4 議案第27号 平成29年度湖西市介護保険事業特別会計予算を議題といたします。

本案は、3月3日の本会議で福祉教育委員会に付託いたしましたので、お手元に配付してありますとお

り、福祉教育委員会審査報告書のとおり報告されております。

ここで、福祉教育委員長の報告を求めます。福祉教育委員長 竹内祐子さん。

〔福祉教育委員長 竹内祐子登壇〕

○福祉教育委員長（竹内祐子） 10番 福祉教育委員長の竹内祐子です。

本3月定例会において当福祉教育委員会に付託されました議案第27号 平成29年度湖西市介護保険事業特別会計予算について、3月15日午前10時より委員会を招集し、委員全員と関係職員の出席を求め慎重に審査いたしましたので、その経過の概要と結果を報告いたします。

質問 歳入、3款2項1目国庫補助金の調整交付金が、平成28年度に比べ減額されている理由は。

答弁 普通調整交付金の調整交付を平成28年度は2.19%、平成29年度は2.01%と見込んだためである。調整交付については湖西市老人福祉計画・湖西市介護保険事業計画（第6期）をもとに算定している。

質問 歳入、9款4項3目通所サービスC利用者負担金が新たに計上されているが、どのような内容か。

答弁 通所サービスCは、保健・医療の専門職により、3カ月から6カ月程度の短期間で集中的に運動機能・認知機能等の低下を改善する支援サービスである。平成29年度からサービス開始を予定しており、利用単価の1割を利用者負担として予算計上している。時間を制限したり、携わる人員の資格を緩和したりするなどして、従来の報酬の単価より安価な設定をしているサービスである。

質問 歳出、一般介護予防事業について。平成29年度の新規事業はあるか。

答弁 介護予防安全ドライバー教室を計画している。75歳以上は自動車免許証の更新時に認知機能検査が実施されるため、65歳から74歳までを対象に、介護予防安全ドライバー教室を予定している。シニアドライバーに無事故で運転を続けてもらえるよう、運転技能や認知症の検査、運転訓練などを行い、個々の能力に合った指導をしていきたいと考えている。

そのほかにも質問、答弁がございましたが、討論なく採決の結果、当福祉教育委員会は全員賛成にて原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議長（二橋益良） 福祉教育委員長の報告は終わりました。

質疑を行います。ただいまの福祉教育委員長報告に対する質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（二橋益良） 以上で質疑を終わります。

討論を行います。討論のある方はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（二橋益良） 以上で討論を終わります。

それでは議案第27号について採決いたします。本案は福祉教育委員長の報告のとおり原案を可決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○議長（二橋益良） 挙手全員であります。したがって議案第27号は原案のとおり可決されました。

---

○議長（二橋益良） 日程第5 議案第28号 平成29年度湖西市後期高齢者医療事業特別会計予算を議題といたします。

本案は、3月3日の本会議で総務経済委員会に付託いたしましたがお手元に配付してあります総務経済委員会審査報告書のとおり報告されております。

ここで、総務経済委員長の報告を求めます。総務経済委員長 加藤弘己君。

〔総務経済委員長 加藤弘己登壇〕

○総務経済委員長（加藤弘己） 9番 総務経済委員長の加藤弘己です。

本3月定例会において当総務経済委員会に付託されました議案第28号 平成29年度湖西市後期高齢者医療事業特別会計予算について、3月14日午前10時より委員会を招集し、委員全員と関係職員の出席を求め慎重に審査をいたしましたので、その経過の概要と結果を報告いたします。

質問 歳入、保険料が増額となっているが、一人当たりの医療費の状況はどうか。

答弁 保険料は被保険者の増加等により、2,153万8,000円の増額である。当市の被保険者一人当た

りの医療費は減少傾向にあるが、静岡県全体では毎年増加傾向にある。今後は団塊の世代の加入による被保険者の大幅増、医療の高度化、高額医薬品の普及などにより、当市でも医療費が増加していくことが予想される。

質問 歳出、広域連合納付金のうち、保険料軽減負担分が増額となっているが、保険料の軽減措置の状況は。

答弁 平成29年度から保険料の均等割軽減の判定基準が見直され、対象者が増加することに伴い、低所得者保険料軽減負担分の納付金が増額となる。均等割の軽減割合については、高齢者の医療の確保に関する法律施行令により、特別措置として本則に上乘せし実施している。今後は一部について順次縮小または廃止することとなっており、平成29年度には旧被扶養者の均等割軽減割合が9割から7割に縮小される。

その他にも質問、答弁がございましたが、討論なく採決の結果、当総務経済委員会は全員賛成にて原案のとおり可決すべきものと決しました。以上で報告を終わります。

○議長（二橋益良） 総務経済委員長の報告は終わりました。

質疑を行います。ただいまの総務経済委員長報告に対する質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（二橋益良） 以上で質疑を終わります。

討論を行います。討論のある方はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（二橋益良） 以上で討論を終わります。

それでは議案第28号について採決いたします。本案は総務経済委員長の報告のとおり原案を可決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○議長（二橋益良） 挙手全員であります。したがって議案第28号は原案のとおり可決されました。

---

○議長（二橋益良） 日程第6 議案第29号 平成29年度湖西市公共下水道事業特別会計予算を議題といたします。

本案は、3月3日の本会議で建設環境委員会に付託いたしましたがお手元に配付してあります建設環境委員会審査報告書のとおり報告されております。

ここで、建設環境委員長の報告を求めます。建設環境委員長 豊田一仁君。

〔建設環境委員長 豊田一仁登壇〕

○建設環境委員長（豊田一仁） 12番 豊田一仁です。委員会に関します委員長報告を行います。

本3月定例会において当建設環境委員会に付託となりました議案第29号 平成29年度湖西市公共下水道事業特別会計予算について、3月21日午前10時から委員会を招集し、委員全員と関係職員の出席を求め慎重に審査いたしましたので、その経過の概要と結果を報告いたします。

質問 歳入、繰入金が平成28年度比12.7%減額されている理由は。

答弁 下水事業の収支と償還額を考慮し、起債の償還の一部について、一般会計からの繰入金のかわりに資本費平準化債を充てようとするためである。

管渠や処理場の耐用年数は50年であるが、起債の償還期間は30年である。減価償却費を超える元金償還金部分に対し、20年償還で借入れを行うことができる資本費平準化債を活用し、後年度の利用者にも負担を求め、世代間の負担の公平を図ると同時に、一般会計からの繰入金を減額しようとするものである。

質問 歳出、新規委託業務のストックマネジメント基礎調査業務委託、経営戦略及び下水道使用料検討業務委託と、現在策定中のアクションプランの説明を。

答弁 スtockマネジメントは、維持可能な下水道事業を目的として、老朽化を考慮したリスク評価等による点検、調査、修繕、改築を実施していかうとするものである。浄化センター施設を対象にした維持管理計画を策定するため、平成29年度の基礎調査業務委託では、それぞれの施設の詳細調査を行い、台帳を整備する予定である。

経営戦略及び下水道使用料検討業務委託は、公営企業が将来にわたって安定的に事業を継続していくため、中長期的な経営の基本計画を策定しようとする

ものである。施設、設備に関する投資や財源の見直しに加え、経費を含めて収入と支出が均衡するように、投資財政計画を策定するものであり、あわせて下水道使用料の検討を実施していく予定である。

現在策定中のアクションプランは、国の施策により、汚水処理の整備を今後10年間でおおむね完了することを目指した中期的な整備計画である。しかし、当市の平成27年度末の下水道普及率は新居処理区で70.6%、浜名湖処理区で35.2%となっており、汚水処理を10年で概成するような集中投資は財政的に困難であるため、県の上位計画との調整を図りながら、整備区域の縮小を視野に入れているところである。

そのほかにも質問、答弁がございましたが、討論なく採決の結果、当建設環境委員会は全員賛成にて原案のとおり可決すべきものと決しました。以上です。

○議長（二橋益良） 建設環境委員長の報告は終わりました。

質疑を行います。ただいまの建設環境委員長報告に対する質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（二橋益良） 以上で質疑を終わります。

討論を行います。討論のある方はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（二橋益良） 以上で討論を終わります。

それでは議案第29号について採決いたします。本案は建設環境委員長の報告のとおり原案を可決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○議長（二橋益良） 挙手全員であります。したがって議案第29号は原案のとおり可決されました。

それでは、ここで暫時休憩といたします。再開は11時15分といたします。

午前10時59分 休憩

午前11時14分 再開

○議長（二橋益良） それでは休憩を解いて会議を再開いたします。

日程第7 議案第30号 平成29年度湖西市水道事業会計予算を議題といたします。

本案は、3月3日の本会議で建設環境委員会に付託いたしましたがお手元に配付してあります建設環境委員会審査報告書のとおり報告されております。

ここで、建設環境委員長の報告を求めます。建設環境委員長 豊田一仁君。

〔建設環境委員長 豊田一仁登壇〕

○建設環境委員長（豊田一仁） 12番 豊田一仁です。委員長報告をさせていただきます。

本3月定例会において当建設環境委員会に付託となりました議案第30号 平成29年度湖西市水道事業会計予算について、3月21日午前10時から委員会を招集し、委員全員と関係職員の出席を求め慎重に審査いたしましたので、その経過の概要と結果を報告いたします。

質問 資本的支出。平成29年度に実施する建設改良工事の主な施工箇所はどこか。

答弁 平成29年度は15件の工事を予定している。そのうち、他課や浜松土木事務所の工事との同調施工は9件あり、新所原駅北口広場、中之郷、藤ヶ池と大知波青平線、新所原嵩山線、国道301号の太田、利木で工事を予定している。また、水道課単独で行う老朽管の布設がえは6件で、中之郷、月見が丘とスズキ自動車2号線などの工事を予定している。

質問 資本的支出。企業債償還金が平成28年度から減少しているが、今後の推移は。

答弁 企業債の償還については、平成29年度に収益的支出から利息を3,271万8,000円、資本的支出から元金を1億5,211万4,000円支払うと、平成29年度末の企業債残高は8億2,110万2,000円となる。今後は新たに企業債の借入れを行わなければ元金ともに減少し、平成40年度末の企業債残高は約1億円となり、平成50年度末に完済となる見込みである。

質問 資本的支出。水道施設の耐震化の状況と、今後の見込みは。

答弁 配水場等の施設については、ほとんどの施設が耐震性を有している。リッチランドの配水池と白須賀浄水池の耐震診断が未実施であるが、ともに古い施設であるため、耐震補強か施設更新かなどの判断をしていきたい。

管路については、平成27年度末時点で延べ381キ

ロメートルのうち105キロメートル、27.5%が耐震化されている。今後もコスト削減を図りながら耐震化を進め、平成28年度末で28.5%、平成29年度末で29.5%を目指していきたい。東日本大震災や熊本地震での被害報告がない、十分な柔軟性や可とう性を持つポリエチレン管を主に使用し、順次更新していく予定である。

そのほかにも質問、答弁がございましたが、討論なく採決の結果、当建設環境委員会は全員賛成にて原案のとおり可決すべきものと決しました。以上です。

○議長（二橋益良） 建設環境委員長の報告は終わりました。

質疑を行います。ただいまの建設環境委員長報告に対する質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（二橋益良） 以上で質疑を終わります。

討論を行います。討論のある方はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（二橋益良） 以上で討論を終わります。

それでは議案第30号について採決いたします。本案は建設環境委員長の報告のとおり原案を可決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○議長（二橋益良） 挙手全員であります。したがって議案第30号は原案のとおり可決されました。

○議長（二橋益良） 日程第8 議案第31号 平成29年度湖西市病院事業会計予算を議題といたします。

本案は、3月3日の本会議で福祉教育委員会に付託いたしましたがお手元に配付してあります福祉教育委員会審査報告書のとおり報告されております。

ここで、福祉教育委員長の報告を求めます。福祉教育委員長 竹内祐子さん。

〔福祉教育委員長 竹内祐子登壇〕

○福祉教育委員長（竹内祐子） 10番 福祉教育委員長の竹内祐子です。

本3月定例会において当福祉教育委員会に付託となりました議案第31号 平成29年度湖西市病院事業会計予算について、3月15日午前10時より委員会を

招集し、委員全員と関係職員の出席を求め慎重に審査いたしましたので、その経過の概要と結果を報告いたします。

質問 医業収益、入院収益が平成28年度より増額すると見込んだ理由は。

答弁 平成27年9月から平成28年8月までの実績と平成28年7月に循環器内科医師が1名増員したことによる心臓カテーテル検査などが増加、平成29年1月に消化器外科医師が1名増員されたことなどから、1日平均3人の入院患者増加とそれに伴う収益の増額を見込んだためである。

質問 医業費用、検査業務委託料の主な内容と委託先の選定方法は。

答弁 主な内容は検体検査である。院内で行うよりも安価でできる検査や院内で行えない検査について外部委託をしようとするものである。

委託先については、緊急な検査にも早急に対応ができることを勘案し、近隣市に検査室がある業者の選定を考えている。

そのほかにも質問、答弁がございましたが、賛成討論、採決の結果、当福祉教育委員会は全員賛成にて原案のとおり可決すべきものと決しました。

なお採決の後、「公認会計士等による外部監査を行うこと。四半期ごとの経営状況を公表すること。地域住民への説明会や意見交換会を行うこと。」と内容の附帯決議案が提出され、採決の結果、全員賛成にて議案第31号について附帯決議を付することに決しました。

○17番（神谷里枝） 議長、委員長報告に補足を求めたいと思いますが。補足説明をしたいと思いますが。

○議長（二橋益良） 暫時休憩といたします。

午前11時24分 休憩

午前11時27分 再開

○議長（二橋益良） それでは休憩を解いて再開いたします。

ただいまちょっと調整のため、休憩をさせていただきます。暫時休憩とさせていただきます。再開は11時40分といたします。

午前11時27分 休憩

午前11時44分 再開

○議長（二橋益良） それでは休憩を解いて会議を再開いたします。

少し予定時刻を過ぎましたことをおわび申し上げます。

それでは17番 神谷里枝さん。

○17番（神谷里枝） 先ほどの発言は取り下げます。

○議長（二橋益良） 議事を進行させていただきます。

福祉教育委員長の報告は終わりました。

質疑を行います。ただいまの福祉教育委員長報告に対する質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（二橋益良） 以上で質疑を終わります。

討論を行います。討論のある方はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（二橋益良） 以上で討論を終わります。

それでは議案第31号について採決いたします。本案は福祉教育委員長の報告のとおり原案を可決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○議長（二橋益良） 挙手多数であります。したがって議案第31号は原案のとおり可決されました。

○4番（高柳達弥） 議長。

○議長（二橋益良） ただいま、4番 高柳達弥君から発言の許可を求められております。これを許可いたします。4番 高柳達弥君。

〔4番 高柳達弥登壇〕

○4番（高柳達弥） 4番 高柳達弥です。ただいま可決されました議案第31号に関しまして、附帯決議を提案させていただきたいと思っております。

昨年の当初予算において、病院の経営改善努力を期待し、予算が可決され、設置者、管理者初め病院職員一丸となって責任と覚悟をもって病院経営に当たるよう附帯決議をしたところであるが、経営の大幅な改善にはなっておらず、3月補正で2億円の繰入金が必要となり、また29年度には厳しい財政状況

の中で、12億円の繰入金が必要となることから、議員による初めての議員間討議、多くの議員による質疑、一般質問、そして委員会での審査を重ねてきました。

福祉教育委員会委員長報告のとおり、公認会計士等による外部監査や経営状況の公表、また住民への説明、意見交換会を開催するなど、留意して予算執行されることを強く要望するという文書を附帯決議として提案いたします。

○議長（二橋益良） ただいま4番 高柳達弥君から議案第31号に対する附帯決議の動議が提出されました。賛成される方は挙手をお願いいたします。

〔賛成者挙手〕

○議長（二橋益良） 動議が成立いたしました。

ただいま4番 高柳達弥君から議案第31号に対する附帯決議の動議が提出されましたが、所定の賛成者がありますので動議を成立させます。

お諮りいたします。本動議を日程に追加し議題とすることに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（二橋益良） 御異議ないものと認めます。

本動議を日程に追加し、議題とすることに決定いたしました。

ここでお昼の休憩とさせていただきます。再開は午後1時といたします。

午前11時49分 休憩

午後1時00分 再開

○議長（二橋益良） それでは休憩を解き、午前引き続き会議を再開いたします。

議案第36号の議案第31号に対する附帯決議案を議題といたします。

それでは提案理由の説明を求めます。提出議員、4番 高柳達弥君。

〔4番 高柳達弥登壇〕

○4番（高柳達弥） 4番 高柳達弥です。議案第31号 平成29年度湖西市病院事業会計予算に対する附帯決議案について、提案説明をいたします。

1、公認会計士等による外部監査を行うこと。2、四半期ごとの経営状況を公表すること。3、地域住

民への説明会や意見交換会を行うこと。

以上の説明として、1は公認会計士等による外部からの経営診断や事業評価の監査を行うこと。2は四半期ごとに経営状況を把握・確認し、対策がとれるよう公表すること。3は地域住民への説明や病院との意見交換会開催により、住民の理解・協力が得られるよう経営改善努力への取り組みを行うこと。

以上の説明を踏まえ、3項目の附帯事項に留意して予算執行することを強く要望し、提案説明を終わります。

○議長（二橋益良） 説明は終わりました。

質疑を行います。質疑のある方はございませんか。9番 加藤弘己君。

〔9番 加藤弘己登壇〕

○9番（加藤弘己） 9番 加藤弘己でございます。今の附帯決議について質問いたします。

この中にある外部監査、公認会計士等による外部監査というようなことなんですけど、この具体的なことをもう少しお話しできないでしょうか。

○議長（二橋益良） それでは説明を求めます。4番 高柳達弥君。

〔4番 高柳達弥登壇〕

○4番（高柳達弥） ただいまの加藤議員の質問にお答えいたします。

公認会計士等ということで、外部の目で診断、評価が必要だと思いますので、会計士以外にも経営アドバイザー、また病院経営に詳しい人などに依頼するということが必要ではないかと思います。以上です。

○議長（二橋益良） 9番 加藤弘己君。

〔9番 加藤弘己登壇〕

○9番（加藤弘己） そうしましたら、この外部監査を行うことでどのような効果を求めるということでしょうか。

○議長（二橋益良） 4番 高柳達弥君、どうですか。

それでは暫時休憩といたします。

午後1時05分 休憩

午後1時07分 再開

○議長（二橋益良） 休憩を解いて会議を再開いた

します。

4番 高柳達弥君。

〔4番 高柳達弥登壇〕

○4番(高柳達弥) 4番 高柳達弥です。加藤議員にお答えいたします。

私たち議員は、企業会計に精通していないため、お金の流れを管理する中で経営改善を期待するということで、アドバイザーですか、会計士等が必要だということで、そういう意見になりました。以上です。

○議長(二橋益良) 9番 加藤弘己君。

〔9番 加藤弘己登壇〕

○9番(加藤弘己) 経営改善はもちろんのことなんですけど、病院の機能の向上だとか、それか今繰り出しが多くなってるということで、これを少しでも少なくするというようなお考えはないですか。

○議長(二橋益良) 4番 高柳達弥君。

〔4番 高柳達弥登壇〕

○4番(高柳達弥) 4番 高柳達弥です。加藤議員の言われるとおりでございます。以上です。

○議長(二橋益良) 9番 加藤弘己君。

〔9番 加藤弘己登壇〕

○9番(加藤弘己) それでは、公認会計士等いろいろなアドバイザーをつけるというようなことなんですけど、それについての予算措置はどのようにお考えでしょうか。

○議長(二橋益良) 4番 高柳達弥君。

〔4番 高柳達弥登壇〕

○4番(高柳達弥) 4番 高柳達弥です。加藤議員にお答えいたします。

費用については、企業会計全部適用ということでありますので、予算管理は管理者にあり、必要であれば市当局と相談し、予算計上していけばよいと考えます。以上でございます。

○議長(二橋益良) 9番 加藤弘己君。

〔9番 加藤弘己登壇〕

○9番(加藤弘己) それでは、予算計上するということなんですけど、どのような方法で、どの時期に、どういうふうに予算計上するんですか。

○議長(二橋益良) 4番 高柳達弥君。

〔4番 高柳達弥登壇〕

○4番(高柳達弥) 4番 高柳達弥です。ただいまの加藤議員にお答えいたします。

ただいま、私の提案した附帯事項につきましては、当局側への議会からの要望でございますので、その要望につきましては当局側のほうで必要とあればそういう形で検討していけばいいのではないかなとそんなふうに考えておりますが。

○議長(二橋益良) 9番 加藤弘己君。

〔9番 加藤弘己登壇〕

○9番(加藤弘己) それでは、予算要望をしていくということなんですけど、予算要望ということは、例えば今回修正するのか、それとも6月に上げるのか、修正するのか。今、この6月に修正するというようなことは、今の予算としてはちょっとおかしな話じゃないかなと思うんですけど、そこについてはどうでしょうか。

○議長(二橋益良) 4番 高柳達弥君、よろしいですか。

〔4番 高柳達弥登壇〕

○4番(高柳達弥) 4番 高柳達弥でございます。

附帯事項で当局側へ要望を出したということで、当局側のほうでこの要望を持ち帰って、どういうふうにするかということは当局側のほうで検討すればいいじゃないかなということでございますけど、どうでしょうか。

○議長(二橋益良) 今、質問、答弁の繰り返しものですから、ここでちょっと休憩をとりたいと思います。

暫時休憩といたします。再開は1時30分といたします。

午後1時14分 休憩

午後1時48分 再開

○議長(二橋益良) 休憩を解く前に、大変時間が延長して申しわけありませんでした。ただいまから休憩を解きますのでよろしくお願ひします。

それでは休憩を解いて会議を再開いたします。

ほかに質疑のある方はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（二橋益良） 以上で質疑を終わります。

7番 渡辺 貢君。

○7番（渡辺 貢） 修正の動議をお願いいたします。

○議長（二橋益良） はい、どうぞ。

〔7番 渡辺 貢登壇〕

○7番（渡辺 貢） それでは、修正の動議ということで提案をしたいと思います。

ただいまの決議案に対する議論をお聞きしております。まして思いましたことは、提案者の意向は外部による経営診断や事業効果をやったほうがいいんじゃないかなという趣旨だったと思います。この気持ちはわかります。

ただ、現状、新しい改革プランが作成されようとしているところでございまして、この1番の附帯決議をするというのはいかがかなというふうに思っております。加えて、公認会計士等による外部監査をということの内容は、予算の増額を伴う、そういう決議にもつながるのではないかなという懸念がございまして。

そうした意味から、外部の意見もということについては、いまして慎重に議論・検討をしたらどうかというふうに思います。

そういう理由から、提案のあった1番については、これを削除して、2番、3番のみにしたらどうかというふうなことで、そういう修正についての提案をしたいと思います。よろしくお願ひします。

○議長（二橋益良） ただいま、修正の動議がありました。賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○議長（二橋益良） 賛成多数でございますので、動議が成立いたしました。

それでは、この議案第36号の議案第31号に対する附帯決議案として修正をした案をただいまから配付させていただきます。

暫時休憩といたします。

午後1時51分 休憩

午後2時02分 再開

○議長（二橋益良） 休憩を解いて会議を再開いたします。

それでは提案理由の説明を求めます。7番 渡辺貢君。

〔7番 渡辺 貢登壇〕

○7番（渡辺 貢） それでは修正案について、朗読をもって説明にかえさせていただきます。

議案第36号 「議案第31号 平成29年度湖西市病院事業会計予算」に対する附帯決議案に対する修正案でございます。

議案第36号 「議案第31号 平成29年度湖西市病院事業会計予算」に対する附帯決議案の一部を次のとおり修正をする。

1、公認会計士等による外部監査を行うこと。2、四半期ごとの経営状況を公表すること。3、地域住民への説明会や意見交換を行うこと。

以上3点を、1つ、四半期ごとの経営状況を公表すること。2つ、地域住民への説明会や意見交換を行うことに改めるということで、1番を削除ということになります。よろしくお願ひいたします。

○議長（二橋益良） 説明は終わりました。

質疑を行います。質疑のある方はございせんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（二橋益良） 以上で質疑を終わります。

討論を行います。討論のある方はございせんか。17番 神谷里枝さん。

〔17番 神谷里枝登壇〕

○17番（神谷里枝） 17番 神谷里枝。今の附帯決議につきまして、賛成の討論を行います。

この病院事業会計につきましては、当福祉教育委員会も本当に真剣に慎重審議を行いました。審査過程でいろいろな課題はございましたが、公立病院の最大の目的である市民の健康と命を守る住民サービスの提供を担っていること。また今現在、入院、通院している市民がいること等を考慮しまして、認めざるを得ないと判断いたしました。

市長主導のもと、新しい管理者の経営手腕に期待をしまして、この附帯決議案にも賛成といたします。ということで賛成です。よろしくお願ひします。

○議長（二橋益良） ただいまは賛成討論でありま

した。

ほかに討論ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（二橋益良） 以上で討論を終わります。

それでは議案第36号の議案第31号に対する附帯決議案の修正案について、採決をいたします。本案を原案のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○議長（二橋益良） 挙手多数であります。したがって第36号は原案のとおり可決されました。

附帯決議案を日程に追加しましたので、お手元にご覧いただけます。議事日程の日程番号が繰り下がることとなります。どうぞよろしくお願いたします。

訂正いたします。

ただいま挙手多数であります。したがって議案第36号に対する附帯決議案修正案は原案のとおり可決されました。

---

○議長（二橋益良） それでは日程第10 議案第32号 湖西市副市長の選任につき同意を求めることについてを議題といたします。

事務局長に朗読させます。

〔議会事務局長朗読〕

○議長（二橋益良） 市長に提案理由の説明を求めます。市長。

〔市長 影山剛士登壇〕

○市長（影山剛士） 議案第32号につきまして御説明を申し上げます。

丸谷由行副市長が、平成29年3月31日をもって退任をされることに伴いまして、後任として田中伸弘さんを副市長に選任したく、議会の同意を求めるところでございます。

田中さんは、昭和39年生まれの52歳で、昭和62年に静岡県民生部児童課での採用以来、袋井土木事務所、静岡県立大学、県立こころの医療センター等の勤務を経て、経済産業部管理局部付主幹、経済産業部企業立地推進課課長代理等を務められ、現在は静岡県政策企画部西部地域政策局次長として活躍をされておられます。

地域行政等についてすぐれた見識と経験を持ち、堅実に業務を執行され、当市の副市長として信頼するに足りる人物でございます。私のよき理解者、そしてまた県との橋渡し役として活躍をいただけるというふうに確信をしております。

なお、副市長の任期につきましては、平成29年4月1日から平成33年3月31日までの4年間であります。よろしく御審議を賜りますようお願い申し上げます。

○議長（二橋益良） 説明は終わりました。

本件は質疑、委員会付託、討論を省略し、直ちに採決したいと思います。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（二橋益良） 異議なしと認め、直ちに採決いたします。本案を原案のとおり同意することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（二橋益良） 異議なしと認め、議案第32号は原案のとおり同意することに決定いたしました。

---

○議長（二橋益良） 日程第11 議案第33号 湖西市固定資産評価員の選任につき同意を求めることについてを議題といたします。

事務局長に朗読させます。

〔議会事務局長朗読〕

○議長（二橋益良） 市長に提案理由の説明を求めます。市長。

〔市長 影山剛士登壇〕

○市長（影山剛士） 議案第33号につきまして御説明を申し上げます。

固定資産評価員につきましては、従来から副市長が兼任をしているところでございますが、現在の副市長が退任となります。

このため、後任といたしまして先ほど副市長として御同意をいただきました田中伸弘さんを固定資産評価員に選任をいたしたく、議会の同意を求めるところでございます。

なお任期につきましては、この役職には定めがございません。よろしく御審議を賜りますようお願い

申し上げます。

○議長（二橋益良） 説明は終わりました。

本件は質疑、委員会付託、討論を省略し、直ちに採決したいと思いますですが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（二橋益良） 異議なしと認め、直ちに採決いたします。本案を原案のとおり同意することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（二橋益良） 異議なしと認め、議案第33号は原案のとおり同意することに決しました。

○議長（二橋益良） 日程第12 議案第34号 湖西市教育長の任命につき同意を求めることについてを議題といたします。

事務局長に朗読させます。

〔議会議務局長朗読〕

○議長（二橋益良） 市長に提案理由の説明を求めます。市長。

〔市長 影山剛士登壇〕

○市長（影山剛士） 議案第34号につきまして御説明を申し上げます。

山下宗茂教育長が、平成29年3月31日をもって退任されることに伴い、後任といたしまして渡辺宜宏さんを任命しようとするものでございます。

渡辺さんは、昭和56年から現在まで長きにわたり教員として活躍をされており、白須賀中学校や鷺津中学校の校長を歴任されました。また、その間には湖西市の教育委員会で学校教育課長を務め、現在は湖西市立鷺津中学校校長であり、湖西市校長会の会長も務められております。人望も厚く、人格、識見ともにすぐれた適任者であると考えますことから、教育長として任命をしたく、議会の同意を求めるところでございます。

なお、任期につきましては前任者の残任期間であります平成30年3月31日までとするものでございます。よろしく御審議を賜りますようお願い申し上げます。

○議長（二橋益良） 説明は終わりました。

本件は質疑、委員会付託、討論を省略し、直ちに採決したいと思いますですが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（二橋益良） 異議なしと認め、直ちに採決いたします。本案を原案のとおり同意することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（二橋益良） 異議なしと認め、議案第34号は原案のとおり同意することに決しました。

○議長（二橋益良） 日程第13 議案第35号 平成28年度湖西市民会館解体工事の契約締結についてを議題といたします。

事務局長に朗読させます。

〔議会議務局長朗読〕

○議長（二橋益良） 市長に提案理由の説明を求めます。市長。

〔市長 影山剛士登壇〕

○市長（影山剛士） 議案第35号につきまして御説明を申し上げます。

平成28年度湖西市民会館解体工事につきましては、去る3月15日、特定建設工事共同企業体制度及び総合評価落札方式を用いた一般競争入札を執行いたしました。

その結果、参考資料1ページにございますけれども、中村組・中村土建特定建設工事共同企業体が2億9,160万円で落札しましたので、落札者と工事請負契約を締結しようとするものでございます。

なお、本工事につきましては平成29年12月15日の完了を予定するものでございます。よろしく御審議を賜りますようお願い申し上げます。

○議長（二橋益良） 説明は終わりました。

質疑を行います。質疑のある方はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（二橋益良） 以上で質疑を終わります。

討論を行います。討論のある方はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（二橋益良） 以上で討論を終わります。

それでは議案第35号について採決いたします。本

案を原案のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○議長（二橋益良） 挙手全員であります。したがって議案第35号は原案のとおり可決されました。

○議長（二橋益良） 以上で本日の日程は終了いたしました。

ここで、先ほど副市長選任の同意をいたしました田中伸弘君から御挨拶をお願いいたします。

〔田中伸弘登壇〕

○（田中伸弘） 湖西市市議会議員の皆様、初めまして。田中伸弘と申します。

同意人事、御承認いただきまして、まことにありがとうございました。大変光栄であり、身の引き締まる思いでございます。

私はこれまで静岡県庁の職員として県行政事務に携わってまいりましたが、これからは湖西市職員の一員として、市民の皆様が笑顔で快適な生活が送れるよう、法令遵守のもと適切な行政サービスを提供していきたいと思っております。

現在、国内では人口減少対策が喫緊の課題であり、湖西市におきましても同様であると思います。また湖西市独自の課題もあると思いますが、これらの課題解決に向けて、私は影山市長の強いリーダーシップのもと、これまでの行政経験を生かし、影山市長を補佐し、少しでも湖西市行政のお役に立てればと思っております。そのためにも湖西市職員の皆様と一緒にチームワークよく、業務を進めてまいりたいと思っております。

これから精いっぱい務めさせていただきますので、何とぞよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。

○議長（二橋益良） ありがとうございました。

続いて、教育長任命の同意をいたしました渡辺宜宏君から御挨拶をお願いいたします。

〔渡辺宜宏登壇〕

○（渡辺宜宏） 湖西市市議会議員の皆様、こんにちは。渡辺宜宏と申します。

ただいま教育長任命の同意人事に同意いただきま

して、まことにありがとうございます。大変光栄でありますし、大変重い職であることから、身の引き締まる思いであります。

私は、昭和56年4月に、当時浜名郡でありました可美村立可美中学校に教諭として赴任して以来、36年間、主に中学校教育に携わってまいりました。その間、鷲津中学校、新居中学校、そして岡崎中学校開校する前の湖西中学校、白須賀中学校、学校教育課と市内全ての地区にお世話になりました。

それぞれの地域では特色のある取り組みがなされ、地域の子供たちは地域で育てるとの思いの高さから、子供の健全な成長のために多くの助けをいただきました。

今後は、湖西市総合計画に基づいて、教育分野を推進するために作成された湖西市教育振興基本計画にある、あすの湖西をつくるひとづくりのために尽力してまいりたいと思います。

これから、現山下教育長との引き継ぎをしっかりと、現時点での課題等についてはしっかりと把握し、教育委員の方々や職員の皆さんと力を合わせて課題解決に向け努力してまいりたいと思っております。

また、市長の施策でもあります子育てや教育への支援による幸福度日本一のまちづくりのために、湖西市総合教育会議では協議や調整をして、教育委員会活動に取り組んでまいりたいと思っております。

これから精いっぱい務めていきたいと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。きょうはどうもありがとうございました。

○議長（二橋益良） ありがとうございました。

ここで、今年度をもって退任される丸谷副市長、山下教育長へ、副議長から送別の挨拶を申し上げます。副議長。

〔副議長 神谷里枝登壇〕

○副議長（神谷里枝） 送別の言葉。

このたび、丸谷副市長並びに山下教育長が退任されるに当たり、議会を代表いたしまして一言感謝の言葉を申し上げます。

丸谷副市長におかれましては、財務省主計局や独立行政法人日本高速道路保有債務返済機構の経理部

長などの要職を歴任された後、湖西市へ赴任され、財務、税務行政等におけるすぐれた見識と経験をいかんなく発揮し、堅実な業務の執行をなされました。

副市長として、市長を補佐し、職員からもよき理解者として信頼され、市政のかじ取り役として活躍されましたことに、深く敬意と感謝を申し上げる次第でございます。

3年間という短い期間ではございましたが、退任間近には重要な課題も山積し、大変気がかりではないかと心中お察し申し上げますが、湖西市での経験をよき思い出とし、健康に留意され、新しい生活での御活躍を御期待申し上げます。

また、山下教育長におかれましては、昭和50年から37年間の長きにわたり教員として奉職され、平成24年から教育長として湖西市の教育行政に尽力され、教育界のかなめとして、その要職を務めてこられました。

湖西市の教育の基本理念である、あすの湖西をつくるひとづくりに邁進され、湖西市教育振興基本計画とともに生涯学習推進計画及びスポーツ推進計画も含めた三位一体の計画を推進されました。中でも少子化の進行、育児サービスの多様化により生じている幼稚園と保育所の抱える問題点を解決するため、幼児教育課を設置されましたことは、大変意義深いものであります。

5年間という期間ではございましたが、教育行政の役割に真摯に取り組んでこられましたことに、深く敬意と感謝を申し上げる次第でございます。

意は尽くせませんが、お二人には今後とも市政への御指導と御鞭撻をお願い申し上げますとともに、新たな人生の門出に当たり、御健勝、御多幸を祈念申し上げます、送別の言葉といたします。

長い間、お疲れさまでした。ありがとうございます。

○議長（二橋益良） ありがとうございます。

続いて、丸谷副市長から御挨拶をお願いいたします。副市長。

〔副市長 丸谷由行登壇〕

○副市長（丸谷由行） 皆さんお疲れのところ、私の退任に当たり貴重な時間をいただきまして、挨拶

をさせていただく機会をいただきましたこと、ありがとうございます。

非常に今、神谷副議長から過大な評価の内申点をいただきまして、ちょっと恥ずかしい思いをしておりますが、言葉半分ということでお伺いさせていただきたいと思います。

さて、私、ちょうど3年前の3月20日が議会の最終日でありまして、木曜日でありました。その際に先ほどの田中さんと同じようにこちらで承認をいただいた挨拶をさせていただき、その際に皆様にお伝えした内容というものは、私はずっと行政で過ごしてきた人間でございますので、国、県、市町に限らず、行政は公平・公正にサービスを提供するところということで務めさせていただきたいということをお願いしました。さらに、やはり限られた人員のもと、個々に力を発揮してもなかなか100%の力は出ないと思っておりますので、皆さんが個々の、私ども職員一名一名が十分な力を発揮するとともに、チームワークをもって事に当たっていきいたいというふうに申し上げました。

果たしてそれができたかどうかというのは、また皆さんの心の中にはいろいろと評価があると存じております。

3年間やらせていただいて、毎年、課題が減っていくどころか、毎年積み上がっていくような形で、これからも大変なんだろうなというふうに思っております。

残念なことは、私が着任した年に不祥事が1件発生したこと。それからまたことしになって、立て続けに事務ミス等の関係があったことは、非常に遺憾に思っております。今後このようなことのないように、各幹部には強く注意・指導したところでございます。

これからは4月から新しい体制は既に内示が出ておりまして、新しい部長のもとを各組織が活躍することと思います。そして影山市長も本格的にチームを引っ張っていくと。いわばチーム影山ということで、全力で湖西市の運営に務められることと存じておりますし、また願っております。

それから、また皆さんの議員としての立場から、

いろいろと御指導いただければと思っております。  
市の当局側といいますか、それと議員の皆様方と合わせて、湖西市のためにこれからもお力をおかりして、湖西市の発展のために協力し合えることがすばらしいことではないかと思っております。

皆さんの御発展、それから湖西市のこれからのますますの発展などなど祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

どうも3年間、ありがとうございました。

○議長（二橋益良） ありがとうございます。

続きまして、山下教育長から御挨拶をお願いいたします。教育長。

〔教育長 山下宗茂登壇〕

○教育長（山下宗茂） 先ほどは神谷副議長様から、過分な御評価をいただきまして、本当にありがとうございました。恐縮しております。

5年間務めさせていただきました。平成24年の6月に、6月の初めての議会で、渡辺議員から思いを質問され、ここで答弁したことをきのうのように覚えております。

あのときの私の思いは、この5年間変わることなく続いておりました。ただ、高校教育畑であったために、市の教育行政、それから義務教育について、精通していなかった部分もありながら、さまざまな人々に支えられて、ここまでやってこれたのかなというふうに思っております。

また、議員の皆様からも議会の質問等で施設の改善であるとか、さまざまな御指摘、御教授をいただきました。私自身も内心ではお金さえあれば議員の皆様がおっしゃるような改善の方法ができたのという思いを持ちながらも、なかなか難しい部分があったなというふうに思っております。

私のこの5年間は、ある意味、今まで経験をしたことのない新たな事柄ばかりで、本当に貴重な経験をさせていただいたなというふうに思っております。

後任の渡辺さんにしっかりと引き継ぎをして、今後も市内の子供たち、あるいは先生方のために尽力をしていただけるように、また支援等をしていきたいなというふうに思っております。

本当に5年間、ありがとうございました。

○議長（二橋益良） ありがとうございます。

それでは、これにて会議を閉じ、平成29年3月湖西市議会定例会を閉会といたします。お疲れさまでございました。

午後2時36分 閉会

---

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

議 長 二 橋 益 良

署名議員 福 永 桂 子

署名議員 菅 沼 淳